

令和8年度 第1回学校運営協議会報告

開催日時	令和8年6月10日（水）15：30～17：00 於 白石高校普通科キャンパス会議室				
出席者数	委員11名 事務局2名				
出席者氏名	委員：江口、内野、小長谷、田中、藤瀬、中山、崎村、酒井、大串、野見山、野村 事務局：藤崎、谷口				
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 任命状交付及び委員自己紹介 4 会長・副会長の選出 5 議事 (1) 学校経営方針等 (2) 令和7年度進路状況(結果) (3) 令和8年度学校評価計画 6 部会編成 7 閉会				
議事録					
5 議事 (1) 学校経営方針等について、(2) 令和7年度進路状況(結果)について ○独自の強みと「ダブルキャンパス」の捉え方 委員1：3町との協力体制や地域との近さは白石高校の大きな財産。マイナス面を前面に出すのではなく、生徒の成長につながる地域連携の強みを積極的にアピールすべき。 委員2：2キャンパス制や3町の関与は他校にない強み。足枷ではなく「大学並みのダブルキャンパス経験」「自立した2拠点が非日常で協力する」など肯定的表現に変えて発信してほしい。 ○探究活動・キャリア教育と情報発信 委員3：探究活動の充実素晴らしいが、保護者は進路実績を重視。探究や地域連携が総合型選抜・就職にどう結びつくかを、誰にでも分かる形で可視化し発信することが最優先。 委員2：キャリア教育は「出口」ではなく人生への投資。探究で輝く生徒の姿や成長のプロセスを魅力として示すべき。定員数に一喜一憂せず、教育の本質的価値を伝える発信を求める。 ○スポーツ面の強みと地域連携の実績 委員4：白石高校は長距離や剣道などスポーツの伝統が強い。指導者の存在を含め、この強みをさらに伸ばし、スポーツ推薦など特別選抜枠の拡大にも期待する。 委員5：白石町は旧福富中体育館で体操育成を開始し、特別枠により県外から4名が入学。「安心な田舎環境」が評価されている。こうした実績をSNSで発信するなどし、町としても募集に協力できればと思う。 委員6：大町町も高校生の活躍を望み、町の90周年イベントにボクシング部やダンス、バンドが参加。子どもたちの憧れを生み良い発信となった。今後も広報誌などで全町的に支援したい。 ○いじめ重大事態への対応と心の教育 委員7：重大事態に学校が苦慮しているが、教育は問題から始まるもの。地域と連携した対応や「痛みに気づく心の教育」を示す姿勢こそ、信頼につながる最大のPRになる。 委員8：高校生には相手の立場で考える力を育てたい。心の教育を重視し、保護者が「3年間で成長した」と実感できれば、それが最も強い口コミとして広がる。 (3) 学校評価計画について 委員8：評価指標の目標数値はどう決めるのか、未達成時にペナルティがあるのか。透明性と妥当性の確認。 校長：各分掌主任を中心に学校独自で設定。未達の直接ペナルティはないが公表により社会的印象に影響。100%目標の議論もあるが、必要な数値として設定している。 委員9：県指定以外の独自課題で、達成が極めて困難な項目があるなら、評価項目から外すか、実態に即した形で設定してよい。 議長：委員から出された「3町の地域連携の強み」「ダブルキャンパスの特色」「スポーツの強み」「いじめ対応を契機とした心の教育」についての前向きな意見を参考に、今後の生徒募集や教育委員会への発信に自信を持って生かしてほしい。					
事後措置	朝礼時報告	○	職員会議にて報告	校内LANにて広報	
	その他（ 学校HPに掲載 ）				